



鉄道高架化通信



第58号

令和7年10月発行

発行：豊田市建設部街路課

～若林駅新駅舎の内装デザインが決まりました～

若林駅新駅舎の内装デザインについて

新駅舎の内装デザインは、右記のような地域の特性などに基づいて決まりました。

外観とは違い、内観は完成までなかなか目にすることができないかもしれません。是非、今回ご紹介しましたイメージパースから完成した姿を思い描きながら、楽しみにお待ちください！

内装デザインの決定経緯について

若林地区の地域特性

○農業と工業の融合

若林駅を擁する高岡地区の代表的な景観

○高架化による東と西のつながり

鉄道高架化による東西地域のつながりの創出

○若林駅の昔と今

昔も今も鉄道事業の改革が町の発展を支え、賑わいを創出

内装デザインのキーワード

融合

素材を組合せる

つながり

素材に連続性を
持たせる

昔と今

伝統的な素材(昔)
と最新素材(今)

内装デザインの方向性

木材と最新素材を
組合せたデザイン

(名古屋鉄道(株)により
内装デザインを決定)

新駅舎内装デザインイメージ(自由通路～コンコース) ※事業完了時



天井：豊田市産木製ルーバー

壁面：豊田市産木材と最新素材
(窯業系平形スレート)の組合せ
※改札機横及び高架柱部分

※図はイメージであり、細部は実際と異なる可能性があります。

「木材」と「最新素材」について

「木材」は、豊田市産木材をふんだんに使用しており、「最新素材」は、『窯業系平形スレート』を採用しています。

【木材：豊田市産木材】

- ・地域に根差した拠点整備を目指す⇒**豊田市産木材**を使用
 - ・空間に柔らかさや温かみをもたらす
- ⇒**快適な長く親んでもらえる施設を創出**

【最新素材：窯業系平形スレート】

- ・セメントを主材料とした、セメント特有の質感を活かした板状の建築素材であり、近年、鉄道施設などにおいて採用多数
 - ・廃材を再利用し原料の一部とした、環境に配慮した材料
- ⇒**採用実績、木材との親和性が高いことから採用**

夜間工事について

現在、軌道工事のため、夜間工事を行っております。今後も軌道・電気等の工事のため、引き続き夜間工事を行います。沿線住民の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いします。



～君も高架化探検隊(若林ふれあいまつり編)～

昨年度、多くの方々からご好評いただきました「若林ふれあいまつり」での現場見学。今年度も若林ふれあいまつりにて、現場を間近でご覧いただけます。是非ご参加ください。

日時：令和7年10月26日(日)午前10時～午後2時

場所：若林駅付近

受付：若林交流館(若林ふれあいまつり街路課ブース)

内容：事業概要の紹介、工事現場の見学

(ヘルメットは街路課で用意します)

その他：小学生以下のお子様は保護者同伴のうえお越しください。

運動靴等動きやすい服装でお越しください。

ちょっと途中下車

～若林駅周辺の昔とこれから～

以前、鉄道高架化通信でもご紹介しましたとおり、若林駅は大正9年に開業しました。開業と同時期、若林駅周辺は賑わいを見せ、昭和8年には駅からほど近い場所に劇場「若林座」も開業しました。このように、若林駅の誕生は、駅周辺の発展に大きく寄与していたと言えるでしょう。

今回の事業により、若林駅は新たに生まれ変わります。当時のように、駅の変化を契機にして、今後さらに一層、若林駅周辺が発展していくことを期待しています。



若林座(昭和8年開業)
(「ふる里若林」より引用)

若林駅周辺
イメージパース



※図はイメージであり、細部は実際と異なります。

事業スケジュール

① 用地の取得

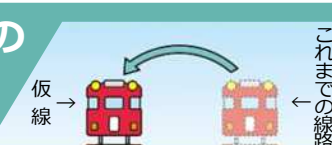
② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

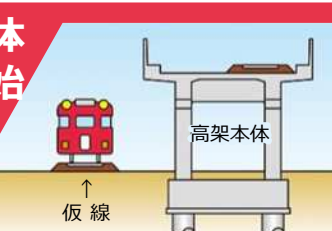
⑤ 仮線への切替

令和5年3月



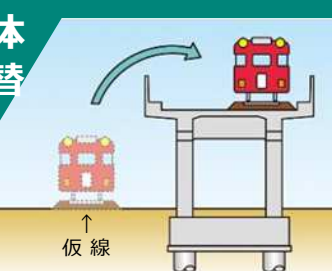
⑥ 高架本体工事開始

令和5年5月



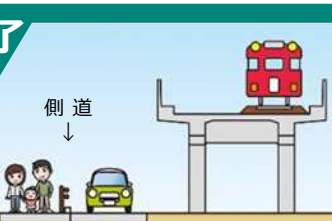
⑦ 高架本体への切替

令和8年3月
予定



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了



問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当

電話番号：0565-34-6651(直通)

FAX番号：0565-35-8196

メール：gairo@city.toyota.aichi.jp